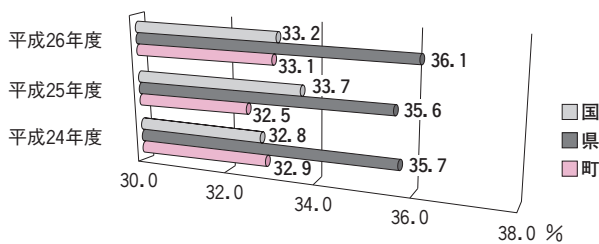


### ③特定健診受診率の状況



3カ年の特定健診受診率は、3人に1人の割合で、全国とはほぼ同じです。

受診率の推移は、ほぼ横ばいです。平成26年度の町受診率は、33.1%で、県内平均より3%低く、県内市町村の最高の64%とは、30%の開きがあります。

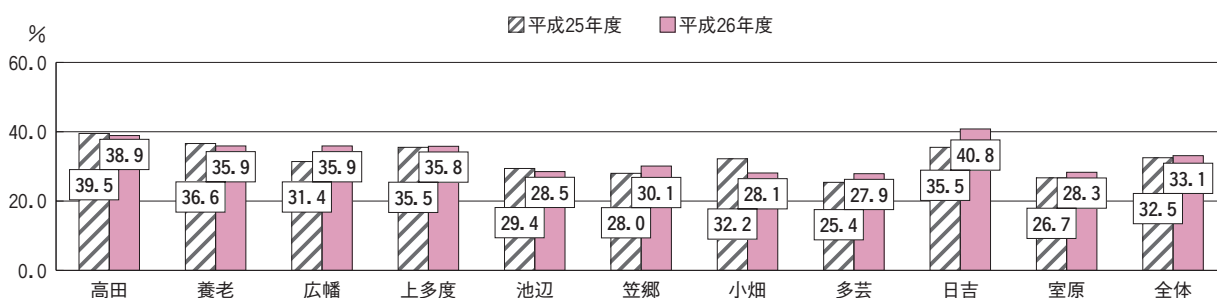
地区別にみた平成26年度の受診率は、日吉地区が40.8%で最も高く、多芸地区が27.9%で最も低くなっています。

受診状況を男女別・年齢別でみると、男女別では全年齢区分を通じて女性の方が、男性よりも受診率が高い傾向にあります。年齢区分では、60歳以上64歳以下の区分で、女

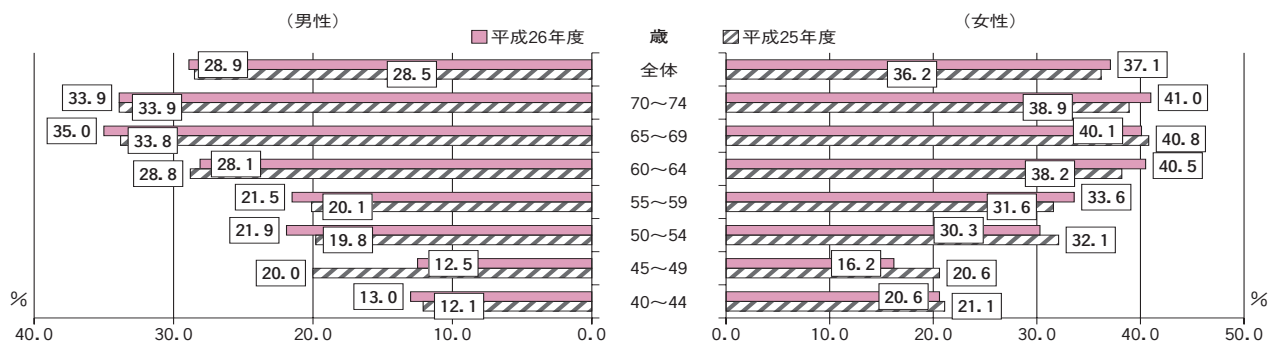
性が4割を超えているのに対し、男性では3割に満たない状況です。

年齢別では、働き盛りである40歳・50歳代での受診率が低く、年齢が上がるごとに受診率が高くなる傾向にあります。

#### 地区別特定健診受診率



#### 男女、年齢階級別特定健康診査受診率



### ④特定健康診査を受けて、体の状態を知ろう

特定健診の受診状況の特徴は、働き盛りである40・50歳代の人受診率が低いことや、女性に比べ男性の受診率が低いことです。自覚症状がなくても、体の中の血管は傷んで、生活習慣病になりつつあるかもしれません。

働き盛りの若い人はもちろん、自覚症状が出ていない今

のうちこそ、ご自分の健康管理のために受診してください。「忙しくて健診に行けない」という人、どうぞ1年のうちの半日を自身と大切な人の未来のために使ってみてはいかがでしょうか。